

イオン株式会社 株主懇談会



增收増益を達成

〈第2四半期連結業績〉

単位:億円

	2010年8月期	2011年8月期	前期差
営業収益	25,051	25,099	+48
営業利益	621	764	+142

過去最高の営業利益を達成する見込み

〈年間連結業績予想〉

単位：億円

	2011年2月期 実績	2012年2月期 業績予想修正	前期差
営業収益	50,965	51,700	+735
営業利益	1,723	1,950 ~ 2,050	+226 ~ 326
当期 純利益	596	630 ~ 680	+34 ~ 84

普通配当予想を上方修正

前回予想

修正予想

1株あたり
普通配当金

21円

23円

イオンビッグ株式会社を設立



ザ・ビッグエクストラ津河芸店

イオンタウン株式会社を設立



マルナカグループと資本提携



中期経営計画の進捗と 今後の取組み

中期経営計画基本方針

2020年に向け新たな成長ステージへ移行する3年間

グループ共通戦略

新しい成長機会の獲得

① アジアシフト

② 大都市シフト

③ シニアシフト

④ デジタルシフト

重点
投資
領域

事業戦略

新しい成長を実現する
事業モデルの革新

- ・各事業の収益力向上
- ・新しい成長モデルの確立

Eコマースはこれまでにないスピードで成長

業態別 売上高1兆円から6兆円に要する期間

百貨店

● → 14年

総合スーパー

● → 12年

食品スーパー

● → 15年

コンビニ

● → 14年

Eコマース

● → 8年

1960 1970 1980 1990 2000 2010

米国百貨店はネットの活用により業績を改善

ノードストローム2010年売上高前年比

ECコマース ▶ 127%

店舗 ▶ 108%

強みを活用しグループ一体でデジタルシフトを推進

AEON

来店客数
10億人/年間



会員数
2,000万人



発行枚数
2,100万枚



店舗

店舗とネットの
融合

ネット



アジアシフト

ベトナム、カンボジアで1号店の出店許可を取得



カンボジア1号店イメージ

イオンクレジットが中国瀋陽で事業開始



イオンファンタジーがマレーシアで事業開始



アジアにおけるグループ一体成長の実現

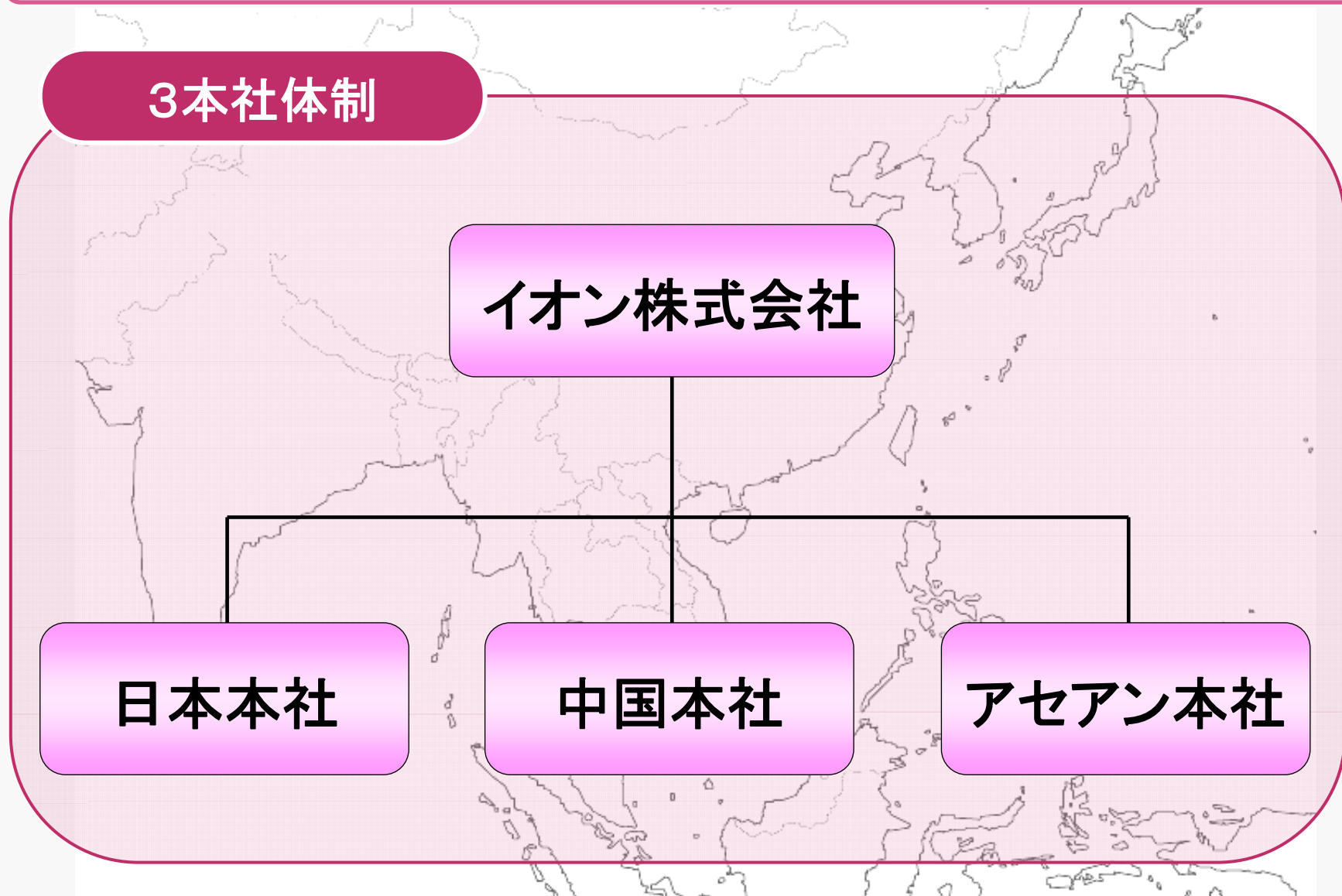
3本社体制

イオン株式会社

日本本社

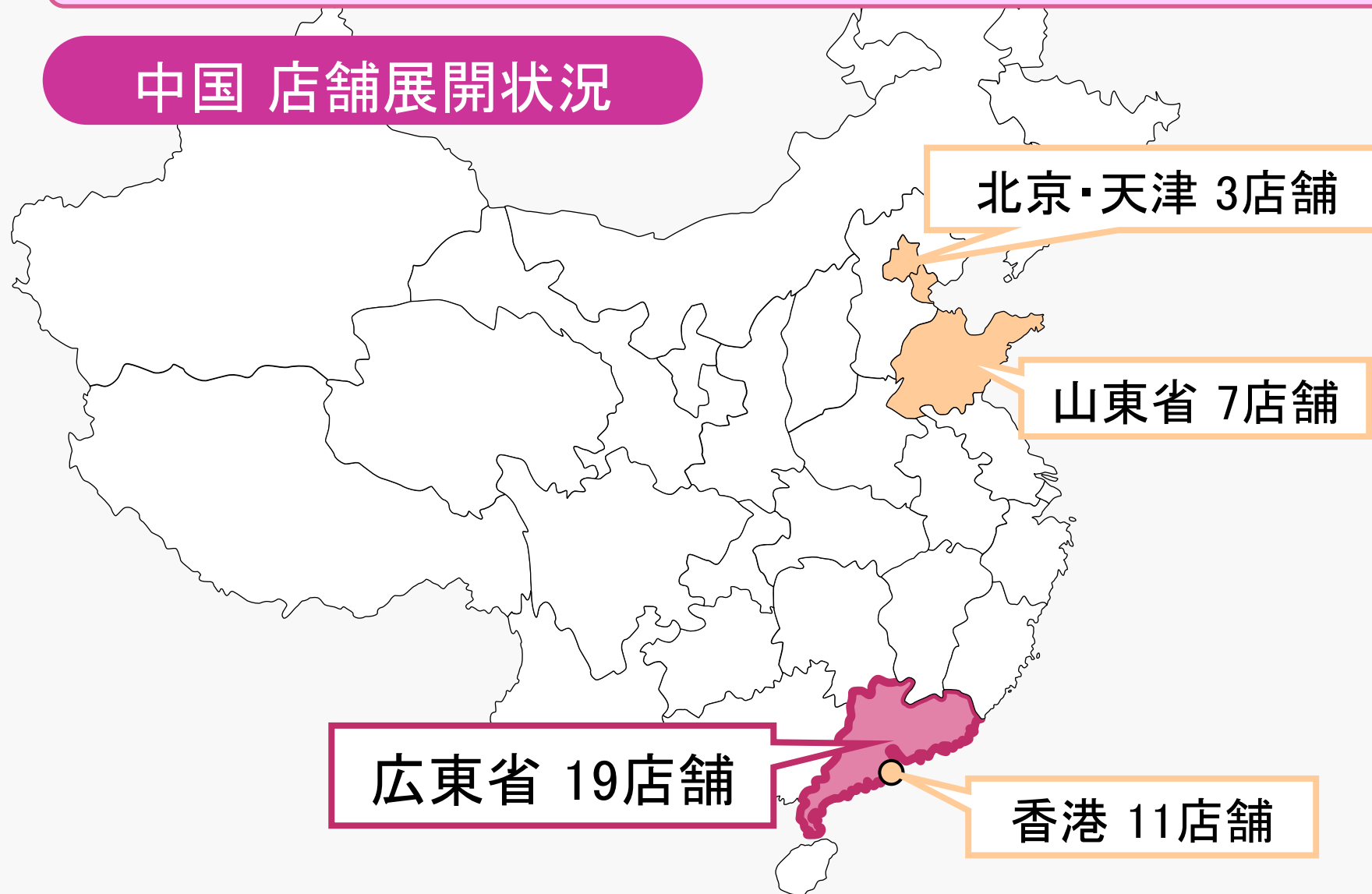
中国本社

アセアン本社



広東省で新たな成長モデルを構築

中国 店舗展開状況



大都市シフト

大都市は人口減少率が低い

2010年～2020年 人口減少率

政令指定都市 ▶ 1.1%

その他市町村 ▶ 5%～

アコレ 多店舗展開へステージを移行



アコレ 浦和白幡店

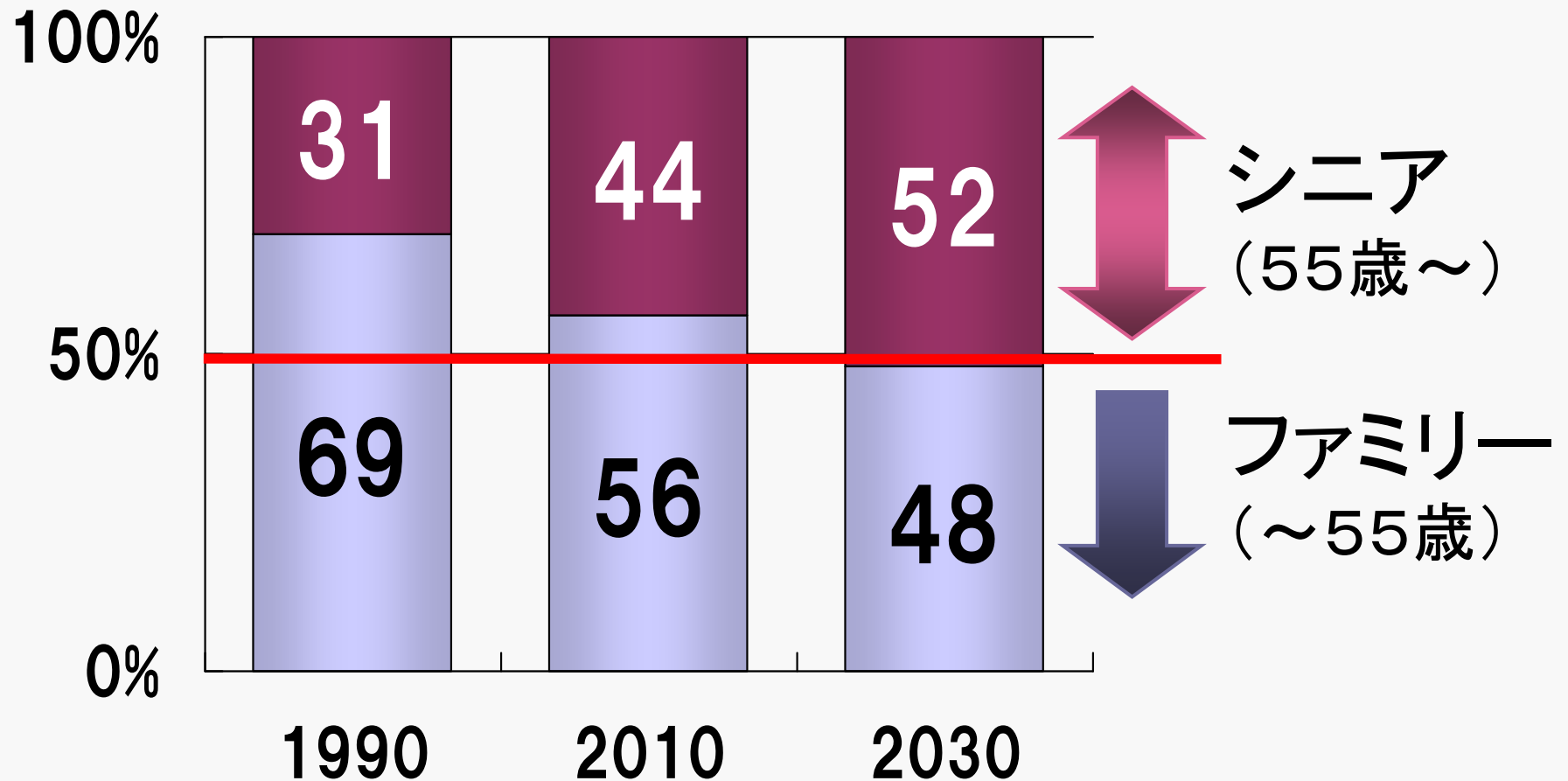
ネットスーパーの拡大



シニアシフト

2030年にはシニアがファミリーを逆転

人口比率の推移



ショッピングセンターの進化



イオン新船橋SC
フィナンシャルモールイメージ
(2012年春開店予定)

商品のシニア対応

軽量化



ペットボトル入りワイン

小容量化

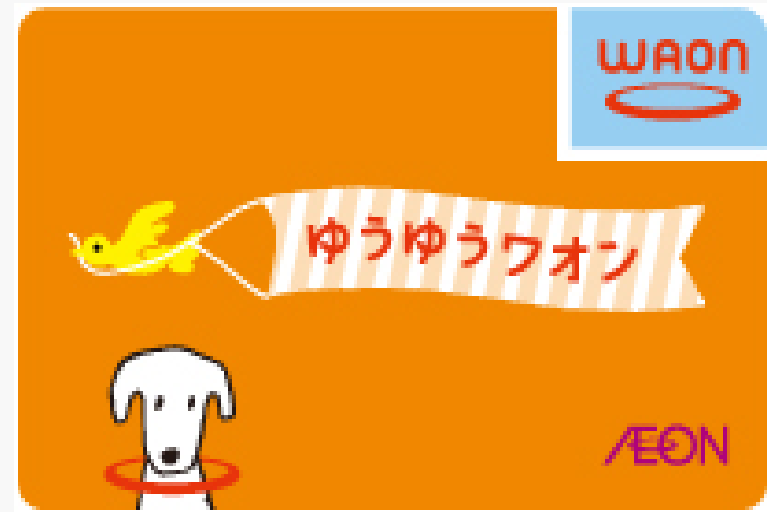


食べ切りサイズの惣菜

新たな顧客囲い込み手法の推進

シニア

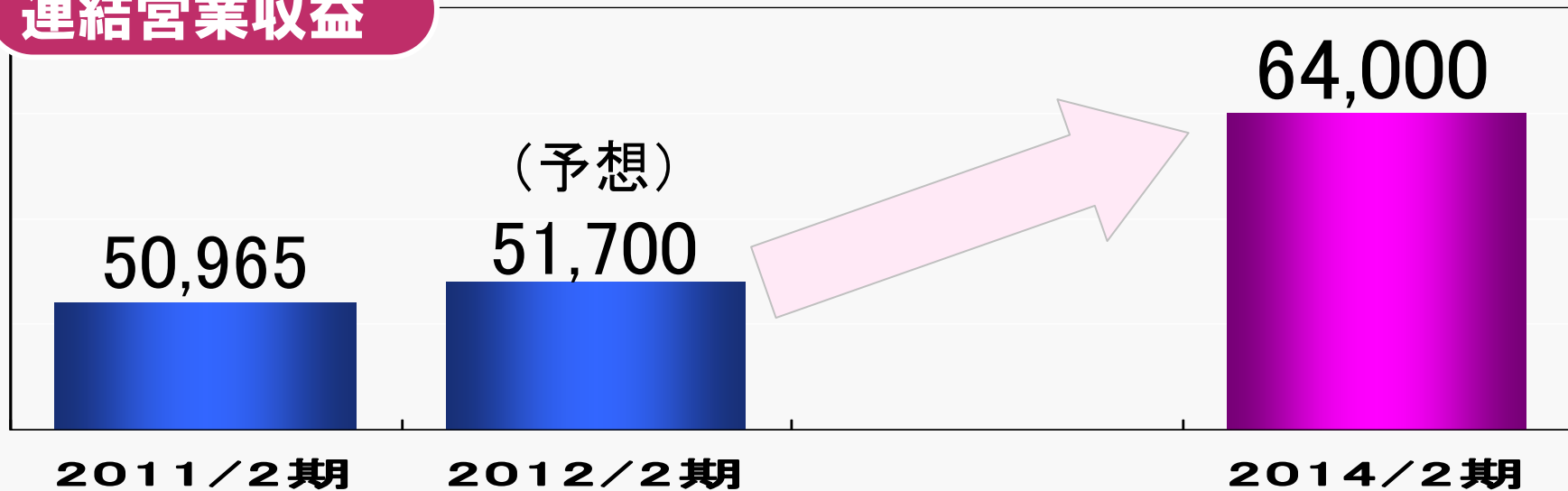
クレジット利用
に抵抗感



2014年2月期 連結数値目標

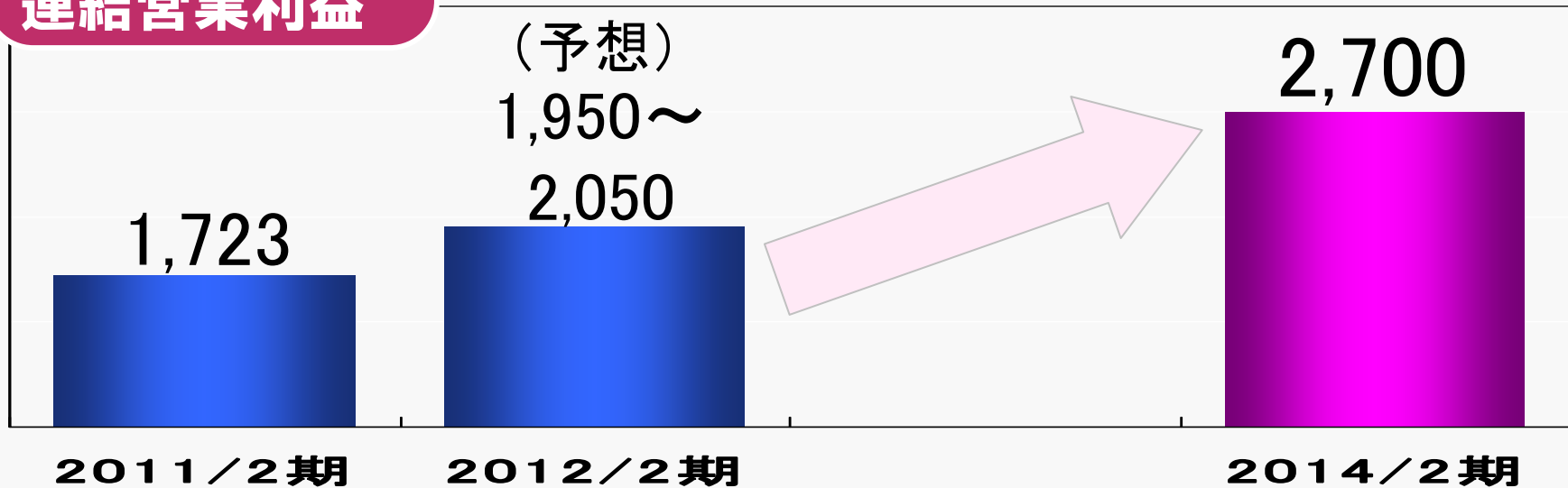
連結営業収益

(単位:億円)



連結営業利益

(単位:億円)



The AEON logo is displayed in a bold, magenta, sans-serif font. A horizontal, three-dimensional magenta ring with a slight gradient and shadow is positioned behind the letters 'E' and 'O', passing through the center of the 'O' and partially behind the 'E'.

AEON